プレスリリース

2015 年 7 月 6 日
株式会社日本経済新聞社

日経のビジネスニュースを英語で聴くアプリ「LissN(リッスン)」をリリース
隙間時間にスマホで英語学習

日本経済新聞社（本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岡田直敏）は日経のビジネスニュースで英語を学ぶスマートフォンアプリ「LissN - 英語で聴く NIKKEI」をリリースしました。日経の主要ニュースを毎朝 5 本、英語と日本語で配信。米国や英国出身のネイティブスピーカーが記事全文を読み上げます。聴くだけではなく、記事中の気になる単語を簡単に調べることもできるなど、満員の通勤車内でも、英語の勉強と情報収集の 2 つを同時にできます。また、ユーザーを対象にしたイベントや講座を開催し、皆さんの学習を応援します。

◆日経の確かなビジネス情報が教材

現代のビジネスパーソンは、メールや会議、出張など英語を使う機会は増えています。英語を学習している方は多いですが、忙しい中でどのように学習をするかは共通の悩みでしょう。LissN(リッスン)は 1 日 5 本の配信で、隙間時間でも英語のリスニング力を鍛えることができます。ニュースソースは、日本経済新聞、日経電子版をはじめ、日経産業新聞、日経 MJ（流通新聞）など、日経グループの発行する有料媒体から翻訳され、日経の英文媒体「Nikkei Asian Review」に掲載された記事。プロの記者と編集者の手による確かな情報をもとに学ぶことで、ビジネスで使える、実践的な英語が身につきます。時事問題などタイムリーなビジネスの話題についての英語表現を学べるので、日々の仕事に直接活用することができます。

価格は月額税込 360 円。初回利用時から 1 カ月はお試し期間とし、料金は発生しません。

◆みんなで学べばきっと身につく

LissN はアプリにとどまりません。セミナーなどのイベントを実施し、皆さんの学習の手助けをします。まず 7 月に「隙間時間での英語学習」をテーマにしたイベントを開催。英語を使って仕事をしている人や、英語学習のプロにノウハウを伝授してもらいます。

◆機能強化、他サービスとの連携も

LissN は聴いて・読んでためになるだけでなく、楽しく効率的に英語が学習できるアプリを目指します。リリース後もリスニングの履歴を一覧表示するなど学習をサポートする機能の強化を続けます。また、日経の英文媒体 Nikkei Asian Review とも連携を深めます。その他、英語学習を支援する外部のさまざまなサービスとも連携していく予定です。

◆名称「LissN - 英語で聴く NIKKEI」について

読みかたは「リッスン」。耳を英語に慣らすだけでなく、日経の最新ビジネスニュースを教材にすることで、学びを得ていただきたいとの思いを込め、聴く=listen と稽古=lesson を組み合わせました。語尾の N が大文字なのは N=Nikkei、英文媒体の Nikkei Asian Review、それに前身となったアプリ Niid に由来します。

※Niid は日経の主要記事を複数のテーマでコンパクトに配信するアプリでしたが、その中でも特に好評だった「英語で聴く NIKKEI」を強化してリニューアルしたものが LissN です。

◆アプリ基本情報

アプリ名：LissN - 英語で聴く NIKKEI（読み「リッスン」）
サービス価格：月額税込 360 円（アプリ内課金）
提供場所：App Store
カテゴリ：教育
対応端末：iOS8 以上を搭載する iPhone、iPod touch でご利用いただけます。それ以外の環境の場合には、一部機能が使用できない可能性がございますのでご了承ください。
App Store URL：http://s.nikkei.com/lissn_ai
LissN 公式ページ：http://pr.nikkei.com/lissn/

◆アプリのロゴ

【日本経済新聞社について】

日本経済新聞社は 1876 年以来、約 140 年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。主力媒体である『日本経済新聞』の発行部数は現在約 280 万部で、国内 61 カ所、海外 36 カ所の取材拠点で 1300 人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。2010 年 3 月に創刊した『日本経済新聞 電子版』の有料会員数は現在 40 万人超、有料・無料登録を合わせて約 250 万人になっています。